

20th

National Institutes of
Natural Sciences
Okazaki Co-op

ANNIVERSARY 2001 ~ 2021

自然科学研究機構岡崎生活協同組合

20年のあゆみ

つながる元気、ときめきキャンパス。



UNIV.
CO-OP

「20年のあゆみ」発刊にあたって

自然科学研究機構岡崎生協(創立時の名称は岡崎国立共同研究機構生協)が昨年2021年で創立20周年を迎えることができました。

これも出資・利用・運営参加で生協を支えて下さった組合員の皆様、3研究所・事務センターの関係者の皆様のご協力・ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

また福利厚生事業の充実が必要だと先見の明をもって設立に尽力された当時の発起人の皆様に改めて敬意と感謝を申し上げます。

ここ5年間では、公費御用聞きシステムの導入、山手店の無人24時間営業のスタート、IC組合員証への移行など、組合員サービスを高めながら経営の安定化を図るべく、スタッフ・理事会が一丸となって取り組みを進めてまいりました。

社会に目を向けると、20年から続くコロナ禍で私たちの生活は一変しました。大学生協はこれまでにないほどの経営危機にさらされ、様々な事業改革を余儀なくされています。

機構岡崎生協においては組合員の皆様の変わらぬご支援・ご協力のおかげで、単年度の黒字状況を継続できていますがここからの5年、10年は大学生協にとっても大きな局面を迎えることとなります。

これから5年、10年先に歴史を振り返った際も「岡崎の研究所に生協があってよかった」と皆様に評価して頂けるよう運営に努めてまいります。引き続き、変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。

2022年5月 自然科学研究機構岡崎生活協同組合 理事会



自然科学研究機構岡崎生協について

自然科学研究機構岡崎生協の概要

名称	自然科学研究機構岡崎生活協同組合
本部所在地	〒444-0867 愛知県岡崎市明大寺町字西郷中38
設立年	2001年4月11日(法人化)
事業内容	機構内での店舗運営(食品・文具・書籍・情報機器等の販売)・共済事業 等
組合員数	400人(2022年2月28日現在)
出資金	5,155,000円(2022年2月28日現在)
総事業高	1億7,089万7,000円(2021年度実績)
常勤役員	理事長 高田 慎治 専務理事 石崎 章仁 代表理事 坂本 聡
事業所	職員会館店・山手店
職員数	正規職員1名・定時職員5名



《職員会館店(明大寺地区)》

*所在地

職員会館2F

*取扱商品・サービス

食品(お弁当・お菓子・ドリンク)、文具、日用品、サプライ品、情報機器(PC等)、公費受付、修理等受付、本部(加入・共済受付等)

*営業時間

平日11:00~17:00(土日祝休業)



《山手店(山手地区)》

*所在地

山手3号館1F

*取扱商品・サービス

食品(お弁当・お菓子・ドリンク)、文具、日用品

*営業時間

有人営業: 平日11:00~13:30

無人営業: 上記以外すべての時間

※棚卸閉店等あり/無人営業はIC組合員証でのみ利用可能

ご挨拶

自然科学研究機構岡崎生活協同組合

高田 慎治 理事長(生命創成探究センター/基礎生物学研究所)

私たちの生協が無事に20周年を迎えました。20年前というのは、ちょうど私が岡崎に赴任した頃であり、当時の私にとって生協はすでに当たり前のように研究生活をサポートしてくれる存在でした。赴任当初に必要なPCなどの備品は生協を通して揃えたことを今でも覚えています。以来20年、生協も様々な変化を遂げ、この5年間を振り返っても山手店の無人店舗化やキャッシュレス化など、時代のニーズを積極的に取り込みつつ発展してきました。私も1ユーザーから理事長になり、生協の企画や運営、さらには東海地区各大学の生協の様子なども少しはわかるようになりました。手前味噌かもしれませんが、私たち自然科学機構の生協は「小さいながらもなかなかユニークな存在じゃん！」と今では感じています。ここまで生協が順調にやってこられたのは、歴代の店長さんやスタッフの皆様のお陰であることは言うまでもありません。関わってこられたすべての皆さんにこの場を借りてお礼申し上げます。

自然科学研究機構岡崎生活協同組合

坂本 聡 代表理事

2016年度から生協職員の員外理事に就任し、初めて通常総会に出席した際に組合員のみなさんからの積極的な発言、事業経営に対しての厳しいご意見をたくさんいただきました。

前年が赤字となったことから、とても心配をいただいているのと同時に、「わが生協」という意識を持っていただいているのだなと強く感じ、うれしく思ったことを覚えています。

関わらせていただいた以降は、昼食対応のための冷蔵ショーケースの拡充、2020年度の山手店24時間営業の実現が印象に残っています。先代の岩田店長とその後を引き継いだ鈴木店長、そして理事長として支えてくださった南部先生・高田先生の尽力で理事会の中で寄せられる理事・監事、そして組合員のみなさんの期待や要望にこの間可能な限り応えてきたのだと思います。

これからも公費のご利用を支えることはもちろん、日常のちょっとしたニーズを拾いながらカタチにできるよう、店長にどんどん意見を届けてください！職員会館店も24時間営業の実現ができないかなあ、と妄想しています。

機構岡崎生協20周年に寄せて

自然科学研究機構岡崎生活協同組合

南部 篤 元理事長(生理学研究所生体システム研究部門)

祝！ 岡崎機構生協20周年

岡崎の研究所に生協がないことなど考えられないほど、日々研究に必要なものを調達したり、福利厚生施設として生活を豊かにするなど、私たちにとって岡崎機構生協は今や必須であり自然なものになっています。しかし20年前までは、そうではありませんでした。私は、1991年から1995年まで生理研に在籍していましたが、本、コンピュータ、文具を買うのは結構大変で、出入りの業者さんに頼んでいました(まだネット通販が影も形もない時代で、それ故に生理研ではサプライショップなど、共通の必需品をストックして購入するという、それはそれで便利なサービスがありました。今もありますけれど。)。生協が2001年設立されるのですが、当初は反対する意見も多かったと聞いています。みなさんの献身的な努力と苦勞の末にいざ出来てしまうと、機構内に店舗があるというのはこの上なく便利なことで、2002年に私が生理研に戻った際は、即入会しました。

初めは一組合員としてでしたが、2007年からは理事として、また2012年に、それまで理事長であった岡本先生(分子研教授)から2、3年やってくれないかと頼まれ、研究所の順番ということもあり、万が一の場合は責任をとる覚悟で理事長を引き受けました。創設期の大変な10年も過ぎ、野村店長・加藤店長・豊田店長のお陰で経営も安定しており、理事長として苦勞した憶えはありません。生協の売り上げも順調に伸び品揃えも充実する一方、山手店の営業時間の延長などの要望には応えることができませんでした(その後、高田現理事長―岩田店長・鈴木店長のおかげで、山手店に無人店舗が導入され、明大寺店よりも却って便利になったかもしれません)。生協の理事会では、普段あまり交流のない他研究所の研究教育職員、学生あるいは事務の方と親しくなりました。また、加藤店長によって生協の全国大会や東海地区大会(大学生協の理事長会など)に度々連れ出され、他大学の生協の理事や職員など、こういった機会がなければ会うことがなかった多くのユニークな人たちに出会う事ができました。大学がコンビニ店を導入したり、教科書をネット販売にするなど、生協が競争に晒される一方で、学生間の格差が広がる中、生協食堂がセイフティネットとして働いているなど、生協の存在意義を改めて認識しました。またこの間、大学生協が地域ごとに分かれていたのを全国組織として一元化したり、東海地区の地域生協との協力を行うなど、生協の営業の強化も図られました。早めに交代できればよかったです。経営組織や店長が変わるなどの理由で説得され、理事長をずるずると継続してまわっていましたが、大隅先生(2003年-2008年理事長)を越えてしまったのは恐れ多いということで、2018年度を最後に現在の高田理事長にバトンをお渡ししました。

今後も岡崎の研究所や統合事務センターのメンバーに愛される生協であり続けることを心より祈念致します。

自然科学研究機構岡崎生活協同組合

野村 林太郎 初代専務理事 **成人を迎えた生協に巡り合って**

私は2000～2001年生協創立とその後の運営に9年間店長・専務理事を務め、今私は再び再雇用・再々雇用待遇で岩田店長・鈴木店長の下で所内配達の仕事を担当しています。生協の二十周年に現役として巡り合えるとはまさか思ってもいませんでしたので、うれしい驚きです。

設立準備では、発起人代表の分子研平田先生といっしょに愛知県を設立認可のお願いで訪問したことを思い出します。県は数百人規模の生協を設立して赤字にならないか心配していました。出資金で仕入代金の支払いができるかも不安がありました。けれど設立賛同署名は短期間で機構の過半数が集まり、組合員募集が始まると多くの先生方が2万円の依頼額を超えて出資もして頂きました。今生協の経営が健全に維持できているのも組合員の皆さんのおかげです。

その後の歴史は年表にある通り、山手店の開店や最近の無人営業時間帯での営業、組合員証IC化やキャッシュレス決済の開始など様々なサービス・品揃えや施設の充実が、みなさんの声や関係者の努力で実現できました。

今のコロナ蔓延などこれからいろいろな困難もあるかもしれませんが、生協がみなさんの研究や機構での生活を支える福利厚生の一環として発展することを切に願っています。

設立趣意書

岡崎国立共同研究機構生活協同組合(略称:岡機構生協)は快適なキャンパス生活を希求する多くの教職員・院生の手によって消費生活協同組合法による法人として創立をめざしております。

岡崎国立共同研究機構を構成する分子科学研究所、生理学研究所、基礎生物学研究所の多くの教職員・院生は全国の大学から岡崎の地に研究の場を求めて集まっております。

各自の前任所には大学生協が設置されているところが多く、ここ岡崎共同研究機構に大学生協が無いことに不便を感じつつも日々を過ごしてきておりました。

ここ数年、岡機構周辺では書店が次々と閉店し自分たちの欲しい書籍雑誌が手に入りにくくなったと感じた有志が1998年11月より岡機構生協設立の可能性を検討しはじめました。岡機構は定員470名と一般の大学に比べて非常に小規模であり、人員流動性も高いため当初は設立を危ぶまれましたが詳細な検討の結果、設立可能であるとの見通しが立ち、1999年4月に大学生協東海地域センターにコンタクトを取り設立プロジェクトチームが発足しました。

1999年7月には、電子メールを活用し、設立準備会の結成を呼びかけ同月、結成されました。同年、9月に発起人会が発足いたしました。

岡機構生協が目指すものは組合員による民主的な運営によって、相互の経済的・文化的生活を向上させ、ひいては研究所における研究と教育の使命をより良く果たそうとするところにあります。

私たち発起人は多くの皆さんが上述の趣旨に賛同され、すすんで岡機構生協の設立に参加し、設立後には利用されますよう心から期待いたします。

岡崎国立共同研究機構生活協同組合設立発起人会

青柳 睦	大隅 良典	岡本 祐幸	小幡 邦彦	加藤 清則
児玉 顕一	坂谷 智也	定藤 規弘	杉田 有治	高橋 卓也
坪内 雅明	長島 剛宏	永山 國昭	西川 武志	服部 宏之
平田 文男	光武 亜代理	武藤 哲司	諸橋 憲一郎	和田 春美
渡邊 栄治	渡辺 正勝	渡辺 芳人		

つながる元気、ときめきキャンパス。



生協のあゆみ(1999～2006)

1999年3月	生協設立に必要な手続きの事前調査(西川)
1999年6～7月	生協設立に関する学内合意
1999年7月1日	設立準備会名で生協設立のよびかけを機構全員にメール送信
1999年9月1日	発起人会発足
1999年12月	店舗設置場所が現在の職員会館2階に決定
2000年7月1日	機構構成員にあらためて設立の賛同を募集
2000年10月10日	生協発起人会から伊藤機構長に生協設立の願いを提出
2000年10月12日	生協設立の賛同者が機構構成員の過半数を超える
2000年11月21日	機構連絡会議で施設の生協への無償貸与が承認される
2000年11月24日	賛同者署名の集約開始
2000年12月22日	創立総会 計算科学研究センター2階大会議室にて開催
2001年1月9日	第一回理事会で理事長に小幡理事(生理研教授) 専務理事に諸橋理事(基生研教授)を互選
2001年3月1日	生協職員会館店オープン
2001年3月22日	生協創立記念パーティ開催
2001年3月15日	愛知県より設立認可
2001年4月11日	法人化
2001年5月21日	第一回ユーザー懇談会
2002年4月	和書インターネットサービス「本やタウン」を開始
2002年10月	切手、年賀状の取扱開始
2003年5月29日	理事長を小幡理事(生理研教授)から大隅理事(基生研教授)へ交代 専従専務理事制に移行
2003年6月	職員会館店の営業時間を17時まで1時間延長
2004年5月6日	生協山手店がオープン
2004年5月27日	定款変更 名称を「自然科学研究機構岡崎生活協同組合」に
2004年10月16日	一般公開(基生研)に初めて参加 先生方の著書販売
2004年10月21日	生協のホームページを開設、アマゾン洋書サービスも開始
2005年8月より	マイバッグ普及キャンペーンを開始
2006年3月	新幹線回数券取り扱いの中止
2006年4月21日	牛乳販売を開始
2006年5月	音楽ソフト注文ネットサービスmusic online shopping開始
2006年11月	11月から音楽ソフト15%引に変更
2006年10月	レシートによる利用高割戻し(3%)実施 114名で利用額は140万円



生協のあゆみ(2007～2015)

2007年	山手店をラウンジに移設
2007年11月16日	山手店の営業時間を1時間延長
2008年6月	レジ袋を有料化した結果、袋の利用を1割以下に削減
2008年4月と10月	組合員利用割戻(5%割戻)を行い生協加入を呼びかけ
2008年9月	理事長を大隅理事(基生研教授)から岡本理事(分子研教授)へ交代
2009年11月12・13日	情報機器展示会に115名の来場者
2009年10月5日	利用者懇談会を開催し、24名の参加で活発な討論
2010年5月	専務理事を野村理事から加藤理事に交代
2010年11月	全国大学生協連「院生生活実態調査」を実施
2011年3月末	山手地区の冷凍食品自販機を利用減で撤収
2011年4月	東日本大震災義援募金を行い217,933円を寄付
2011年5月25日	生協創立10周年を記念して祝賀会を開催
2011年12月	AppleのiPad展示を開始
2012年1月	福袋を新春にはじめて販売
2012年5月	理事長を岡本理事(分子研教授)から南部理事(生理研教授)へ交代
2012年7月6日	機構(岡崎3研究所)と災害時相互協力協定を締結
2013年4月	山手店の営業開始時間を11時30分から11時に繰り上げ
2015年12月1日	加藤専務が辞任して高田理事(基生研教授)が専務理事に就任 常勤役員を置かず、事業連合の支援による経営再建をスタート



↑ iPadの展示展開を開始



↑ 新春福袋の販売



↑ 情報機器展示会を実施



生協のあゆみ(2016～2021)

- 2016年10月 ノーベル生理学賞受賞が決まった大隅先生(元理事長)に生協として祝電
- 2018年7月23日 初めて松河屋和菓子の販売 大好評
- 2018年8月1日 校費システム運用開始。公費伝票がシステム出力に。
- 2018年9月 御用聞きシステム本格展開
- 2019年5月 理事長を南部理事(生理研教授)から高田理事(基生研教授)へ交代
- 2019年11月 書籍15%セールを秋も開催(オートムセール)
- 2020年7月16日 理事会でコロナウィルス感染症対策を議論。閉店した他の大学生協の菓子を処分販売。
- 2021年1月12日 分子研共同利用者控室での無人店舗販売開始
- 2021年4月 組合員証ICカード化
- 2021年5月9日 山手店無人での営業時間帯営業を開始
- 2021年9月7日 三島ロッジでの無人店舗販売開始
- 2021年10月 職員会館店カウンター入替(レイアウトの変更)
- 2022年4月1日 公費新システム稼働開始



↑ 一般公開での生協ブース



↑ 松河屋和菓子即売会



↑ 山手店無人店舗オープン



↑ 山手店での冷凍食品販売



↑ IC組合員証の導入



↑ 職員会館カウンター入替



↑ 店内機器展示会の様子



↑ 三島ロッジ無人販売所

自然科学研究機構岡崎生協 歴代役員名簿

設立発起人

代表 平田 文男
 発起人 青柳 睦 大隅 良典 岡本 祐幸 小幡 邦彦 加藤 清則 児玉 顕一
 坂谷 智也 定藤 規弘 杉田 有治 高橋 卓也 坪内 雅明 長島 剛宏
 永山 國昭 西川 武志 服部 宏之 光武 亜代理 武藤 哲司 諸橋 憲一郎
 和田 春美 渡邊 栄治 渡邊 正勝 渡辺 芳人

歴代理事・監事

年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度
理事長・代表理事	小幡 邦彦	小幡 邦彦	大隅 良典	大隅 良典	大隅 良典	大隅 良典	大隅 良典
専務理事	諸橋 憲一郎	諸橋 憲一郎	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎	野村 林太郎
代表理事							
代表理事							
理事	大隅 良典	大隅 良典	加藤 清則	諸橋 憲一郎	諸橋 憲一郎	諸橋 憲一郎	長谷部 光泰
	加藤 清則	加藤 清則	定藤 規弘	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭
	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭	定藤 規弘	定藤 規弘	定藤 規弘	南部 篤
	平田 文男	平田 文男	坂谷 智也	秋田 素子	秋田 素子	佐藤 千恵	佐藤 千恵
	野村 林太郎	定藤 規弘	岡本 裕巳	平田 文男	平田 文男	平田 文男	平田 文男
		園田 秀久	諸橋 憲一郎	岡本 裕巳	岡本 裕巳	岡本 裕巳	岡本 裕巳
		坂谷 智也	園田 秀久	加藤 清則	加藤 清則	加藤 清則	加藤 清則
		野村 林太郎	平田 文男	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久
監事	西川 武志	西川 武志	岡本 祐幸	岡本 祐幸	永田 央	永田 央	永田 央
	岡本 祐幸	岡本 祐幸	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行
			森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩
			吉国 通庸	吉国 通庸	吉国 通庸	吉国 通庸	古川 和彦
			横井 益男	柳野 友栄	杉浦 鈴代	杉浦 鈴代	杉浦 鈴代
店長							

年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度
理事長・代表理事	大隅 良典	岡本 裕巳	岡本 裕巳	岡本 裕巳	南部 篤	南部 篤	南部 篤
専務理事・代表理事	野村 林太郎	野村 林太郎	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇	加藤 肇
代表理事							
代表理事							
理事	長谷部 光泰	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦	藤森 俊彦
	永山 國昭	長谷部 光泰	長谷部 光泰	長谷部 光泰	篠原 秀文	篠原 秀文	小林 弘子
	南部 篤	永山 國昭	永山 國昭	永山 國昭	窪田 芳之	窪田 芳之	柴 雄大
	佐藤 千恵	南部 篤	南部 篤	南部 篤	西尾 奈々	岡澤 剛起	窪田 芳之
	平田 文男	佐藤 千恵	佐藤 千恵	佐藤 千恵	岡本 裕巳	岡本 裕巳	山本 浩史
	岡本 裕巳	平田 文男	平田 文男	平田 文男	近藤 美欧	近藤 美欧	近藤 美欧
	鈴井 光一	鈴井 光一	鈴井 光一	鈴井 光一	鈴井 光一	鈴井 光一	鈴井 光一
	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	園田 秀久	大川 純	大川 純
監事	永田 央	永田 央	永田 央	永田 央	永田 央	奥村 久士	奥村 久士
	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	矢野 隆行	梅根 一夫	梅根 一夫
	森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩	森 将浩	矢野 隆行	矢野 隆行
	古川 和彦	古川 和彦	古川 和彦	古川 和彦	古川 和彦	森 将浩	森 将浩
	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一
店長							

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
理事長・代表理事	南部 篤	南部 篤	南部 篤	南部 篤	高田 慎治	高田 慎治	高田 慎治
専務理事・代表理事	加藤 肇	高田 慎治	高田 慎治	高田 慎治	石崎章仁	石崎章仁	石崎章仁
代表理事	高田 慎治	坂本 聡	坂本 聡	奥 勝也	奥 勝也	白取 義之	坂本 聡
代表理事	山本 昌也	山本 昌也					
理事	柴 雄大	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之	窪田 芳之
	窪田 芳之	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史	山本 浩史
	山本 浩史	平野 高大	平野 高大	平野 高大	後藤 崇支	後藤 崇支	後藤 崇支
	近藤 美欧	近藤 美欧	近藤 美欧	近藤 美欧	南部 篤	南部 篤	南部 篤
	鈴井 光一	鈴井 光一	石崎章仁	石崎章仁	草本 哲郎	草本 哲郎	草本 哲郎
	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純	大川 純
			奥 勝也	坂本 聡	坂本 聡	坂本 聡	白取 義之
監事	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士	奥村 久士
	梅根 一夫	梅根 一夫	梅根 一夫	梅根 一夫	梅根 一夫	梅根 一夫	梅根 一夫
	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量	長屋 貴量
	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美	山本 友美
	中村 堅一	中村 堅一	中村 堅一	岸上 悟	岸上 悟	岸上 悟	岸上 悟
店長		豊田泰陳	豊田泰陳	岩田 千聖	岩田 千聖	岩田 千聖	鈴木 隆介

供給高と組委員数の推移

●供給高は情報機器を中心とした利用

供給高は校費での情報機器を中心に利用されています。公費御用聞きシステムなどを通じたカタログショッピングやカスタマイズパソコンなどを多くご利用いただいております。時期により、論文の製本や名刺の印刷などこれまで利用が少なかった分野のサービスについても、よりご利用いただけるよう申込方法や価格などを幅広く知らせていきます。

●21年～22年にかけて設備投資を行います。

経常剰余では、21年度で▲45万円の赤字となっています。これは、山手店の無人店舗化に伴う設備投資を反映したものでこの間の剰余を設備投資の目的で積み立てた「目的積立金」を取り崩すことにより、当期剰余では黒字となっています。

22年度もレジシステムの入替などの大幅な設備投資を控えており、引き続き剰余では赤字となる見込みです。目的積立金の取り崩しを予定していますが、赤字幅を最小限に抑え、安定的な運営となるよう引き続き取り組んでまいります。

●組合員数は6年ぶりに400名超え

21年度、組合員数は2015年度以来6年ぶりとなる400名を超えました。山手店無人化に伴うIC組合員証への移行で加入のメリットを多くの方に感じていただくことが出来ました。

引き続き、「加入をして利用する」という生協の原則に則り、未加入の方への加入促進を進めてまいります。

	供給高 (千円)	経常剰余 (千円)	組合員数 (人)
2001年度	74,568	2,974	394
2002年度	114,144	2,573	428
2003年度	152,946	4,716	452
2004年度	145,360	758	472
2005年度	148,812	1,798	473
2006年度	190,507	5,465	486
2007年度	178,683	4,340	473
2008年度	179,752	3,751	454
2009年度	187,618	5,370	446
2010年度	157,456	1,486	442
2011年度	179,492	6,282	448
2012年度	182,148	6,018	448
2013年度	189,276	131	457
2014年度	192,182	-86	463
2015年度	172,150	-3,035	433
2016年度	162,486	318	393
2017年度	166,835	-1,050	382
2018年度	171,422	2,114	387
2019年度	162,935	975	391
2020年度	151,668	1,129	383
2021年度	170,897	-452	400

